

# 資料 1

## 懇談会の前段のテーマ説明資料の要点

### 1) いざという時に備えた地域のつながりについて（災害対策）

- 災害発生時は「自助」「共助」が基本となり、特に自治会の自主防災組織の役割が大切。
- 阪神淡路大震災時は、自力脱出困難者の77%が近隣住民により救助された。
- 自治会加入率は約7割、防災訓練参加は約4割、近所に手助けが必要な人がいるか把握しているのは約3割。

### 2) 住みたくなる町寒川について（移住定住・まちづくり）

- 少子高齢化、人口減少により、今後市町村の間で若い世代に住み続けてもらうための競争が激しくなる。
- 寒川町のSWOT（強み・弱み・機会・脅威）分析を踏まえた上で、町が目指すべき将来の方向性がある。
- 目指すべき方向性は、「雇用機会の確保と産業の創出」、「若い世代の子育て環境の整備」、「まちの魅力向上と認知度の向上」の3つ。

## 1 はじめに

大災害が発生した際、町や防災機関は総力をあげて防災活動に取り組みます。しかし、災害時の地域社会機能の分断によって、消火・救出・救護などの活動に十分対処できない場合も考えられます。

災害を最小限の被害にとどめるためには、地域の協力体制が不可欠です。家庭防災を軸に、地域防災活動に参加し、災害に負けないまちづくりを進める必要があります。

地域に住む皆さんが協力してこそ災害に強い地域ができあがります。個人、家庭ごとで防災活動をして、いざというとき効果が期待できません。自主防災組織をより身近なコミュニティ活動の一環として位置づけ、そこで暮らしているみなさんが協力しあい地域防災活動をすることが重要です。

このマニュアルづくりにあたって自主防災組織は町や消防署が行う防災活動と密接な関係がありますので、防災に関する地域活動がともに連携しあいながらも地域の防災力を高めることを前提としながら指針としたものです。

## 2 自助と共助が防災の基本！

災害が起きた時に必要な助けや支援には「自助」、「共助」、「公助」の三つがあります。その中でもっとも身近なものは、自分たちで防災する「自助」だといわれています。大規模災害になった時、行政機関や自治体の公的支援（消防や自衛隊など）が災害地に到着するにはかなりの時間を要します。一刻も予断を許さない状況では、自分たちで自分たちの身の安全を守り、隣近所の人たちと協力して被害にあった人たちを救助・救援しなければなりません。そのために寒川町において自治会単位で組織される自主防災組織の役割が注目されています。



参 考：阪神淡路大震災で倒壊した家屋に閉じ込められた自力脱出困難者（約35,000人）のうち77%が近隣住民が救助した。  
（いかに近隣住民の力が大切かを物語っている。）

## 3 自主防災組織とは

日本において災害対策基本法第5条2において規定する地域住民による任意の防災組織である。

※ 寒川町では昭和54年から順次各自治会単位で組織化を進め、昭和63年に全23自治会で自主防災組織を設置しています。自主防災組織では、平常時の防災対策から災害時の応急対策、地域の復興対策活動までの一連の活動を行うこととなります。そのためには、基礎知識として災害や地域の概念をつかんでおくことが重要です。そのうえで、平常時の段階で十分な備えを行うことで、災害時における被害を最小限に押さえることができます。

## ② 自主防災組織とは・・・

自主防災組織とは、地域住民が協力・連携し、災害から「**自分たちの地域は自分たちで守る**」ために活動することを目的に結成する任意の防災組織のことです。

自主防災組織は、日頃から災害に備えた様々な取り組みを実践するとともに、災害時には、災害による被害を最小限に食い止めるための活動を行います。

また、復旧・復興期には、自主防災組織と地域住民とが力をあわせて、自分たちのまちの再生に向けた様々な取り組みを行うことが大切です。

### 自主防災組織の取り組み

平常時・・・災害時に備えた取り組みを実践する。

- 地域の安全点検
- 避難路・避難場所の確認、点検
- 地域住民に対する防災知識の普及、啓発
- 防災資機材の整備、点検
- 自力で避難や移動が困難な方などの確認
- 防災訓練の実施 など

災害時・・・災害による被害を最小限に食い止める活動や、まちの復旧・復興に向けた様々な取り組みを行う。

- 避難誘導 ●初期消火 ●救出、救護 ●情報の収集、伝達
- 給食、給水 ●避難所の運営 ●地域の巡回、安全点検
- 地域の復旧、復興に向けた取り組み など

### ③ 自助・共助・公助の連携

大規模な災害が起こったとき、被害を最小限に抑えるためには、「自助」「共助」「公助」がうまく連携することが重要である。

「自助」・・・自分の命は自分で守るということ

「共助」・・・自分たちの地域は自分たちで守るということ

「公助」・・・国・県・町などの行政が主体となって、災害に強い「まち」をつくること

## 第2回 災害に対する備えに関するアンケート集計結果

更新日：2017年10月26日

回答者の半数以上が30代から40代の女性であり、日頃の備えや、いざという時の避難方法・情報収集について不安を感じている等の意見が多く見られました。そして、回答者の約97%が大地震に不安を抱きながらも、自助として備蓄をしている人は約62%であり、公助や共助を求めている人もいる一方で、自助の意識が高まっていることがわかりました。

防災訓練等については、必ず参加している人と時々参加している人を合わせると約40%で、参加したいが日程が合わない人が約18%いました。また、防災訓練で習得したいことは、「AEDの取扱」や「応急処置」など人命に直接関わることでした。

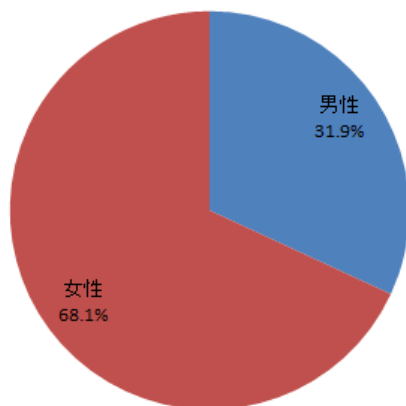
その他意見では、「複数の方が日頃から備えておくことの必要性を感じており、家族でも連絡方法などを共有しておきたい」、「子どもを連れての避難が不安」という意見などがありました。

### 回答期間と回答率

- 回答期間  
平成29年9月8日から平成29年9月18日まで（11日間）
- 回答率  
78.9%  
平成29年9月7日現在登録のeモニター147名のうち116名が回答

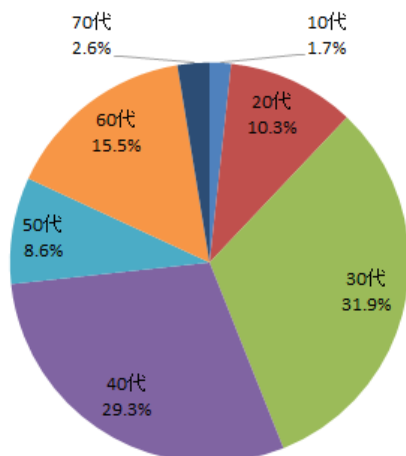
### 回答者属性

回答者性別



n=116

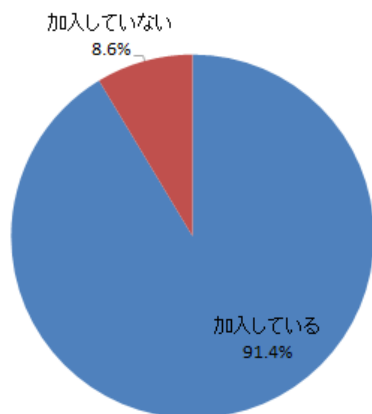
回答者年代



n=116

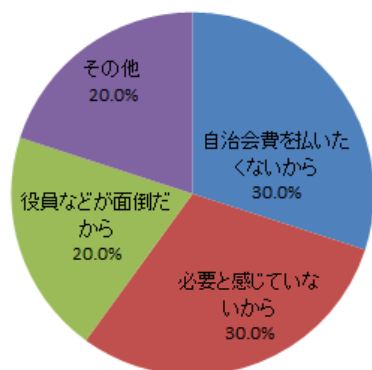
## 集計結果

## 問1 自治会(自主防災組織)に加入していますか？



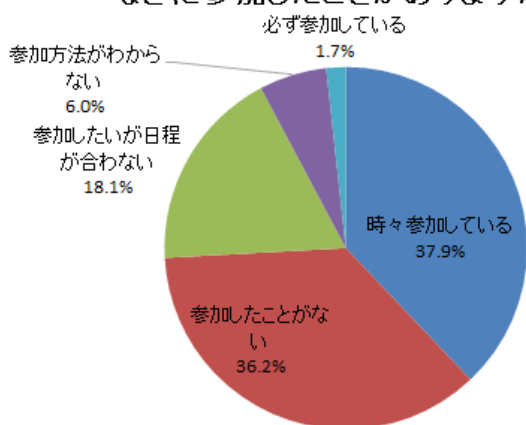
n=116

## 問1-2 問1で加入していないを選んだ方は、最もあてはまる理由を教えてください。



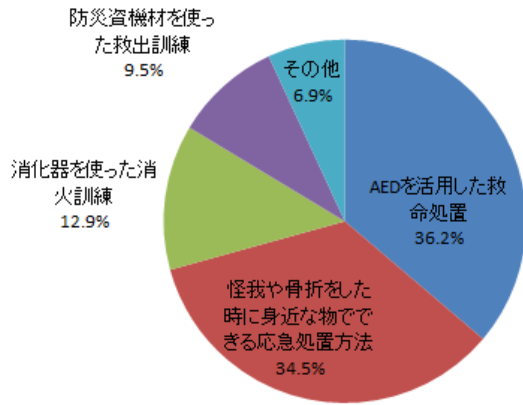
n=10

## 問2 地域で開催される、集会、防災訓練、研修会などに参加したことがありますか？



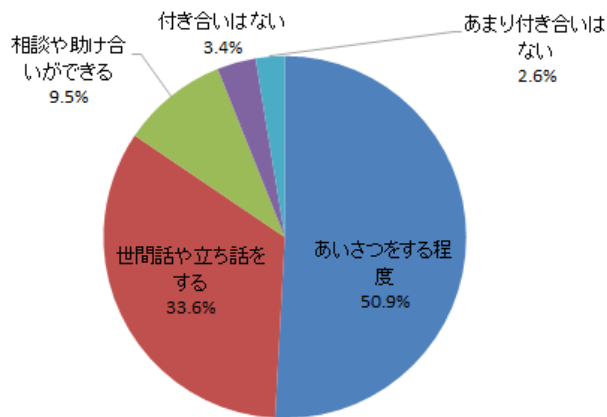
n=116

### 問3 防災訓練に参加するとしたら、最も習得したいことは何ですか？



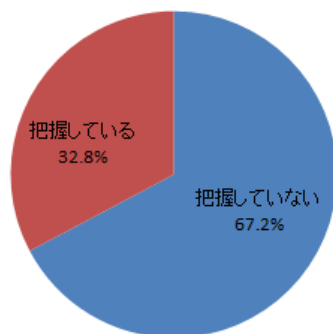
n=116

### 問4 日頃、近所の方とはどの程度お付き合いがありますか？



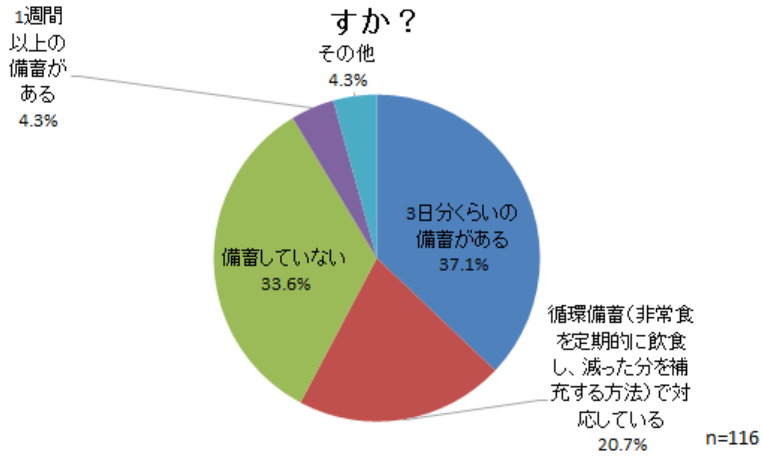
n=116

### 問5 自宅の近所に避難等で手助けが必要な人（高齢者、障がい者等）がいるかどうかを把握していますか？

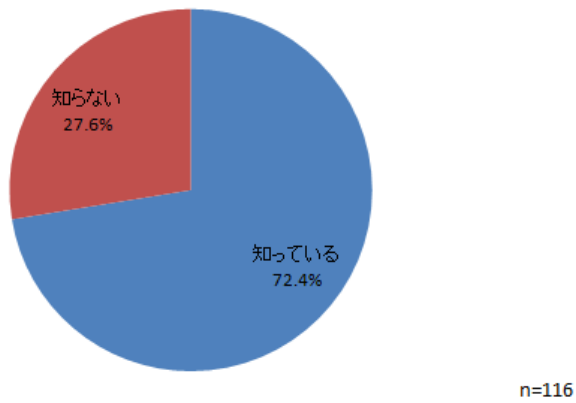


n=116

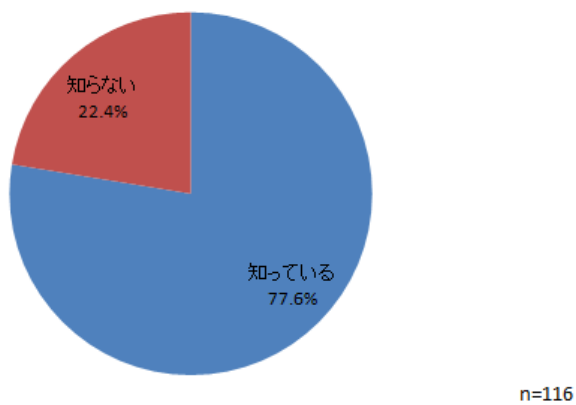
**問6 災害が起こったときのために、家庭内で家族分の食料、水、その他必要なものを準備していますか？**



**問7 一時避難(場)所に避難することになった際、その場所を知っていますか？**

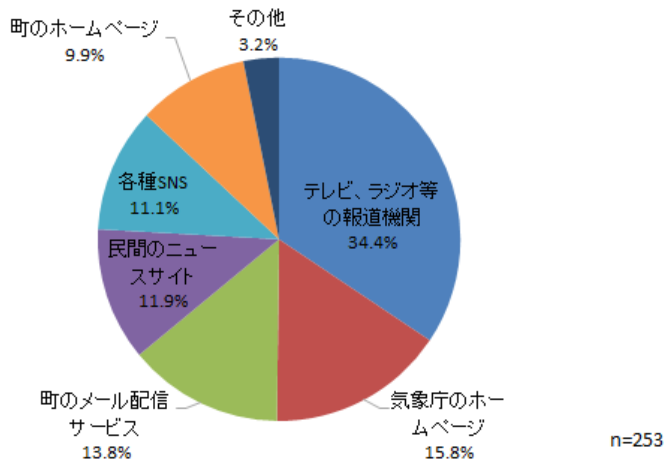


**問8 広域避難(場)所に避難することになった際、その場所を知っていますか？**

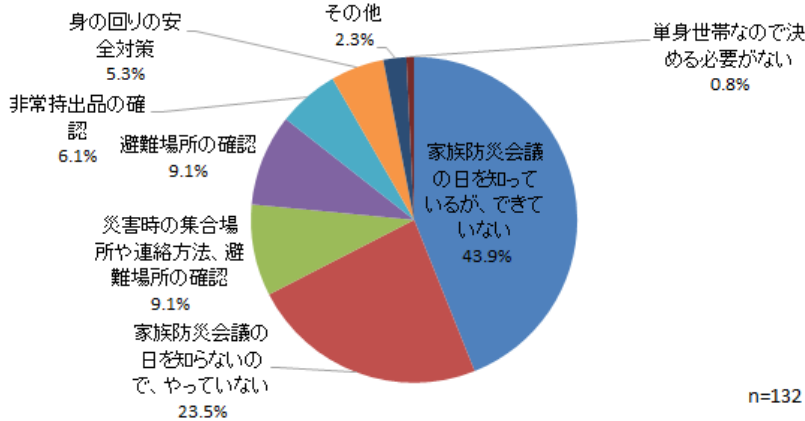




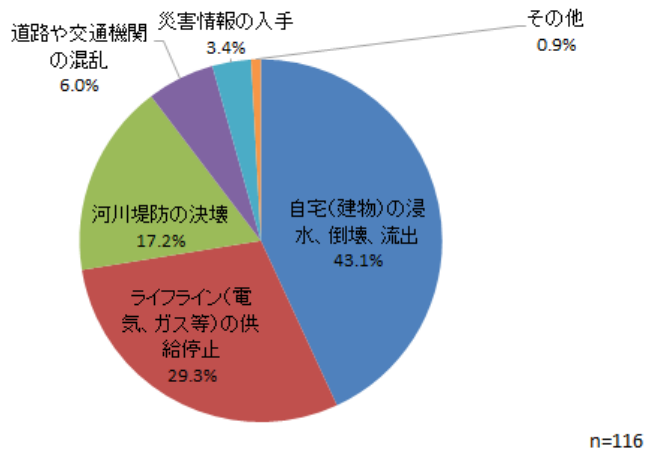
**問9 各種防災情報を何で入手していますか？**  
(複数回答可)



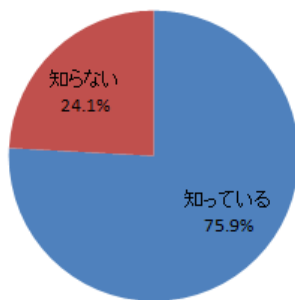
**問10 町では毎月第1日曜日を、家族防災会議としています。家族でどのようなことを話し合っていますか？** (複数回答可)



**問11 風水害が発生した場合、最も心配なことは何ですか？**

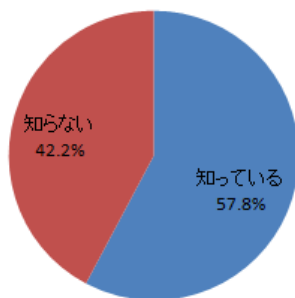


問12 気象等に関する次の事柄の意味を知っているもの全てにチェックをしてください  
(複数回答可)  
【記録的短時間大雨情報】



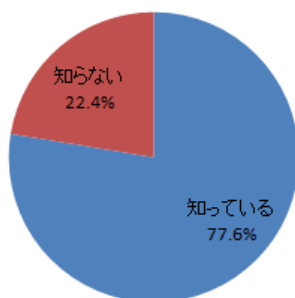
n=116

問12 気象等に関する次の事柄の意味を知っているもの全てにチェックをしてください  
(複数回答可)  
【気象特別警報】



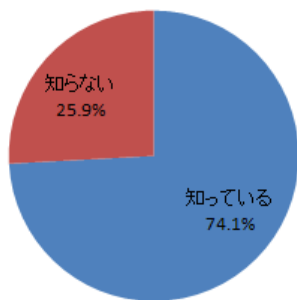
n=116

問12 気象等に関する次の事柄の意味を知っているもの全てにチェックをしてください  
(複数回答可)  
【気象警報】



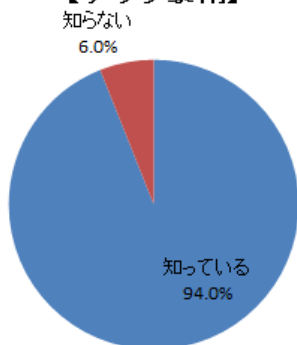
n=116

問12 気象等に関する次の事柄の意味を知っているもの全てにチェックをしてください  
(複数回答可)  
【気象注意報】



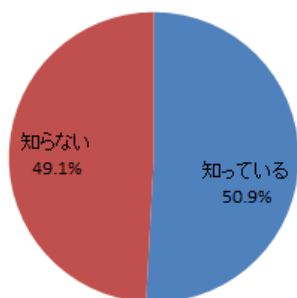
n=116

問12 気象等に関する次の事柄の意味を知っているもの全てにチェックをしてください  
(複数回答可)  
【ゲリラ豪雨】



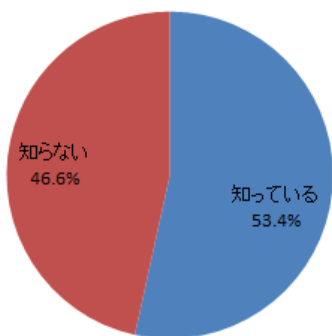
n=116

問12 気象等に関する次の事柄の意味を知っているもの全てにチェックをしてください  
(複数回答可)  
【浸水想定区域】



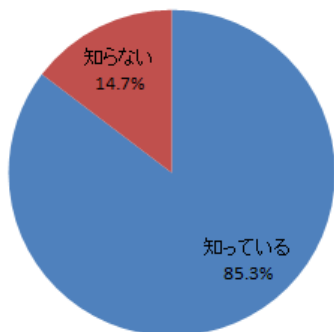
n=116

問13 町が発令する次の情報で知っているもの全てにチェックをしてください(複数回答可)  
【避難準備・高齢者等避難開始】



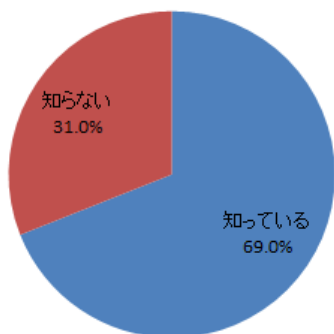
n=116

問13 町が発令する次の情報で知っているもの全てにチェックをしてください(複数回答可)  
【避難勧告】



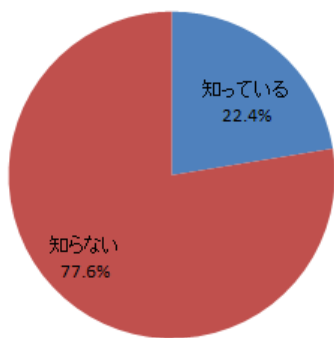
n=116

問13 町が発令する次の情報で知っているもの全てにチェックをしてください(複数回答可)  
【避難指示(緊急)】



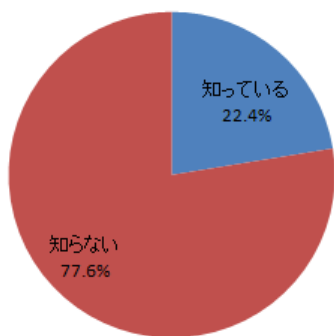
n=116

問14 避難行動に関して、次の事柄の意味を知っている物全てにチェックしてください  
【水平避難】



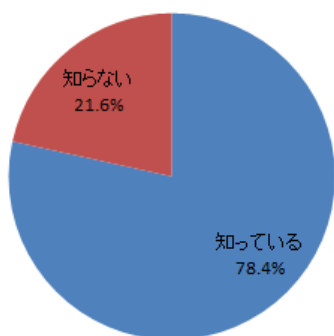
n=116

問14 避難行動に関して、次の事柄の意味を知っている物全てにチェックしてください  
【垂直避難】



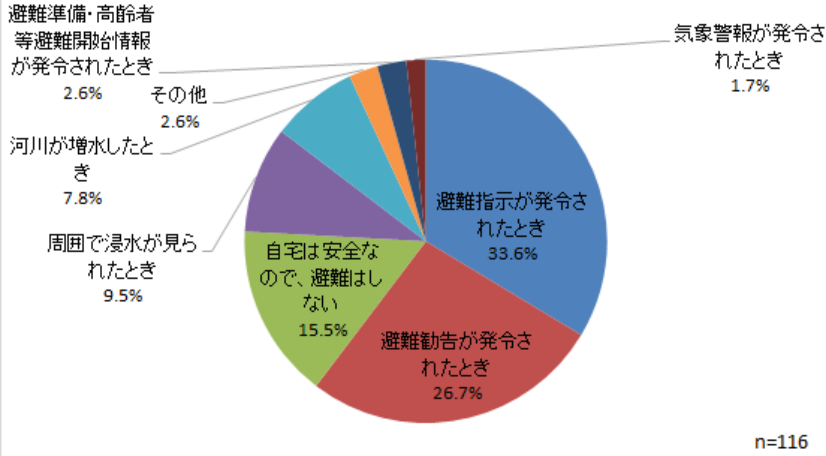
n=116

問14 避難行動に関して、次の事柄の意味を知っている物全てにチェックしてください  
【屋内避難】

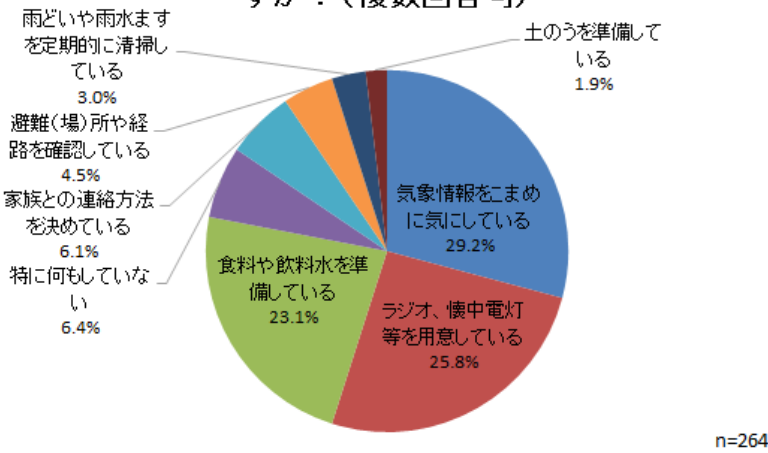


n=116

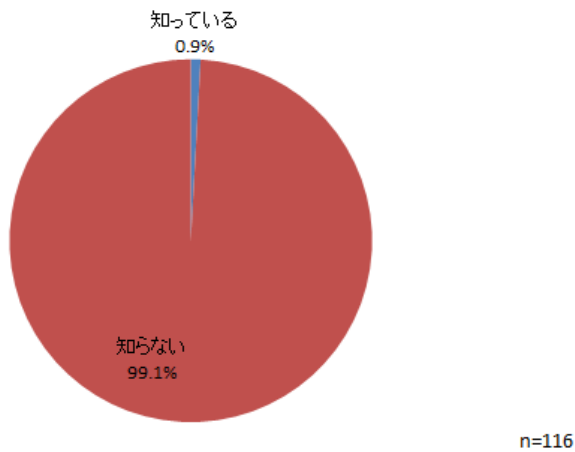
### 問15 自宅において豪雨が発生した場合、どのような状況になったら避難行動を開始しますか？



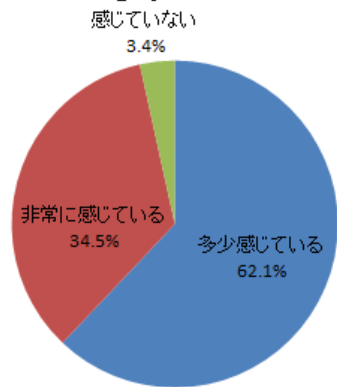
### 問16 風水害に対して、どのような対策をしていますか？（複数回答可）



### 問17 町では、「浸水防止施設設置工事」の補助制度がありますが、その制度を知っていますか？

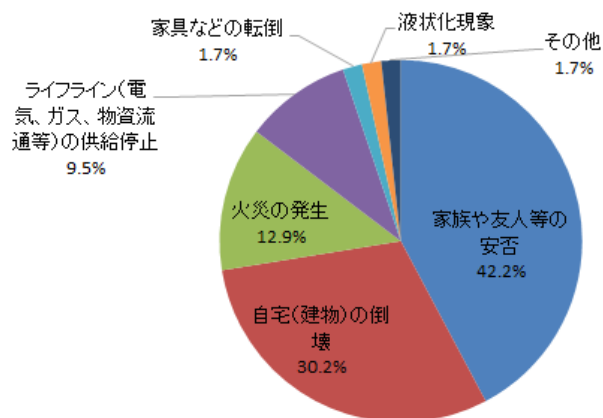


**問18 あなたは自分の住んでいる地域で、大地震が近く起きるのではないかと不安を感じていますか？**



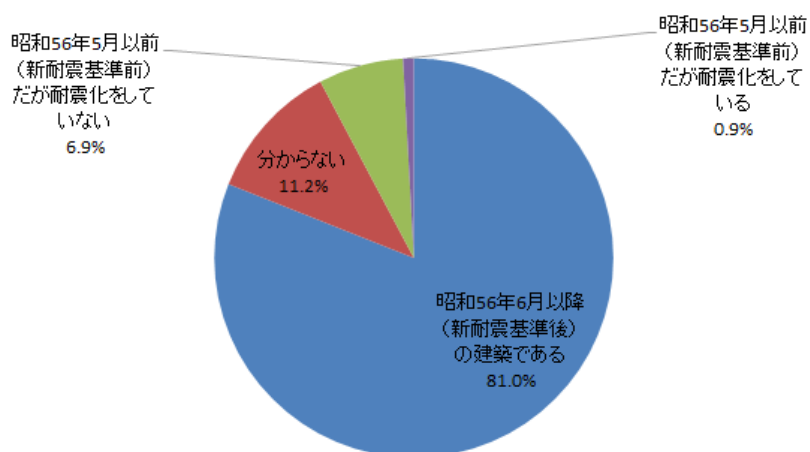
n=116

**問19 大地震が発生した場合、最も心配なことは何ですか？**



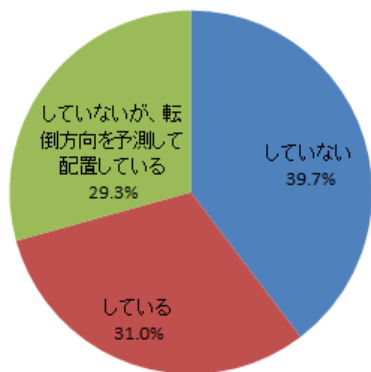
n=116

**問20 自宅の耐震化対策は行っていますか？**



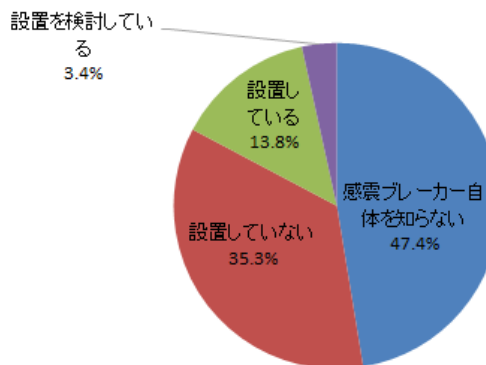
n=116

### 問21 地震で転倒する可能性のある家具を固定していますか？



n=116

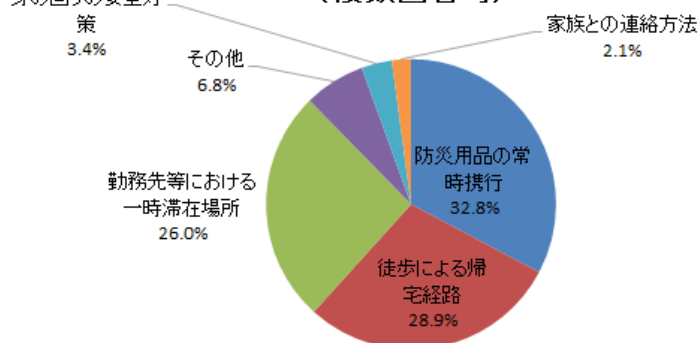
### 問22 地震時の火災は電気によるものが多いですが、地震が発生したときに自動的に電気を遮断する「感震ブレーカー」を設置していますか？



n=116

### 問23 勤務先や外出先で地震に遭い、帰宅困難になってしまった時のために、既に対策または確認をしている項目は次のうちどれですか？

(複数回答可)



n=235

### 問24 その他、災害に関して思っていること

#### 注意

掲載した文章については回答欄に入力された内容をそのまま引用しています。ご不明な点があるかもしれませんがご了承下さい。

#### eモニターの方の思っていること

| N  | 思っていること |
|----|---------|
| 0. |         |



| No. | 思っていること  |
|-----|--|
| 1   | 河川付近の地域には水害時の避難所があったら良いと思う。  |
| 2   | 災害に対しての準備が全然出来ていない事が、こういったアンケートなどによって知ることになる。備えなければいけないと改めて思う。   |
| 3   | 水害であれば避難所へ向かうより自宅2階に避難していた方が安全と言う事もあるのですが、その判断はどの程度なのか難しいです。地震の場合でも自宅倒壊しないのであれば、一概に避難所へ避難するより安全な場合があると思いますが、安否確認が何かしらの機器でボタン一つで出来るシステムがあると良いかとは思いますが。                  |
| 4   | そのうちに 対策を立てようといつも思っているだけで、実際に 準備する 必要性を感じています  |
| 5   | いつ何が起こるか分からないので怖い  |
| 6   | 自宅周辺道路が低く、大雨でも浸水してしまうので大きな災害が来た時の水害が心配   |
| 7   | 寒川町は災害が起こる可能性が高い地域だとは思えない。極めて低い災害の発生の可能性を心配して備蓄をしたり、準備をしたりするくらいであれば、今の仕事や勉強などに全力を投じる方が建設的だと思う。   |
| 8   | 地域の人との繋がりが大切。  |
| 9   | 自宅や、職場にいる時はなんとかなる気がするけど、地方へ遠出していたら自宅はどうだって知れたら便利   |
| 10  | 寒川は標高が低く、津波に対しては弱い位置にあります。その点を考慮した避難計画を組んでいるのでしょうか。  |
| 11  | 災害は仕方ないものですが、起きないで欲しいです。   |
| 12  | つい後回しにしてしまいましたが、備蓄や家族との連絡方法など改めて確認しないといけないなと思いました。   |
| 13  | 今後災害が生じると日頃から報道されています。寒川町としては災害対策に対する予算は確保されているかお聞きしたいと思っています。国や県からの補助はあると思いますが、町としても災害に応じた予算の確保も必要だと思います。   |
| 14  | ゲリラ豪雨対策がしてないこと   |
| 15  | 自治会の役員が高齢の方が多いので、いざという時はあまり頼れないのではないかな。  |
| 16  | 東日本大震災のことを忘れないようにすること  |
| 17  | 小出川の氾濫対策をはやくお願い致します。   |
| 18  | 常日頃災害の事は心配してはいるがいざ用意をしてあるかと言われると何もしていないのが現状です。家族が多いので災害時の食料等、備蓄するのは普段の生活内だと正直大変だな、と思っています。   |
| 19  | 自治会に加入している人と入っていない人のメリットの差（配給品の優先）をもっと前面に出したほうが良いと思います   |
| 20  | 竜巻だけは急に発生するので防ぎようがないと感じており特に対策をとれないなとあきらめている。（大丈夫だろうという気持ちがある）   |
| 21  | 171番号とかの使い方を覚えておきたい  |
| 22  | 特にこの数年いろんな自然災害が起こり（対策にもお金がかかるため）多くの対策ができず困ります。   |
| 23  | 川に近いので、急に水かさが増えたら、怖いです。サイレンなど、早い段階で鳴らしていただき、避難に時間のかかる高齢者や小さな子供がいる世帯に注意を促して欲しいです。Yahooニュースなども気象情報でよくみてるので、寒川町もTwitter以外にもなにか、速報のようなものがあたら運用してもらいたいです<br>Twitterはやらないので。 |

| No.    | 思っていること  |
|--------|--|
| 2<br>4 | 避難所はもとより仮設住宅などには決して行きません。  |
| 2<br>5 | 東海沖地震や富士山周辺の噴火が現実になった場合、この地域がどれくらいの影響を受ける可能性があるのか。   |
| 2<br>6 | 消防団として活動しているが、大規模災害(特に地震)発生時に過度な期待をされるのではないかと不安に思う。消防団であっても活動は限定的で能力を超えてまでの活動はできないことを住民に周知すべきと思う。                            |
| 2<br>7 | 水害で避難勧告がでてでも、避難場所の方が川に近く、避難する意味がわからない。   |
| 2<br>8 | 問19について 家族の安否が心配なのは大前提なのでそれしか選べない<br>次に心配なのは家屋<br>避難勧告と避難指示の違いが分からない。どの情報が出たら避難しなければいけないのか分からない。                             |
| 2<br>9 | 町のホームページにのっている内容が古い気がする。<br>災害とは関係ないが、フォトニュースが7月から更新されていないのを見ると、町の職員のやる気のなさを感じる。   |
| 3<br>0 | 神奈川は毎年地震が起きると言われているし、富士山が噴火すれば被害があるし、今住んでいるところは津波があればのまれてしまうかもしれません、まだ子どもが小さいのでいざと言う時には不安があります。<br>それこそ噴火したときはどうすれば良いのでしょうか？ |
| 3<br>1 | 突然のことに対応できるかが心配。子供をつれての避難がどうなるのか不安。  |
| 3<br>2 | 災害時での行政における緊急サービスの内容と供給場所を事前に何らかの方法で周知してほしい  |

## たくさんのご意見ありがとうございました

貴重なご意見は、これからの災害対策の参考にさせていただきます。

災害等の危機は、いつどこで発生するかわかりません。自分や家族、知人も巻き込まれる可能性があるということを常に認識しておいてください。自分や大切な人の命を守るためにも、災害に遭った後では遅いので、日頃から備えておくことが重要です。

また、町や自衛隊等の公助による支援には限界があり、災害発生時の犠牲者を限りなくゼロにするためには、自助・共助（近助）が一体となった取り組みが不可欠となります。地域で行われる行事（防災訓練等）に積極的に参加して、地域コミュニティを活発にしておくことも大切です。町では、減災に関する事前対策の防災啓発を行っていますので、今後、目に触れた際にはぜひご確認ください。

今回のアンケートに出ている防災情報の入手方法や必要な対策は、町のホームページに掲載されています。今一度、自分や大切な人を守るために何をすれば良いか考えてみてください。

町民安全課

## eモニター募集リンク先はこちらから

[寒川町eモニターを募集します](#)

お問い合わせ  
CONTACT

企画政策課企画マーケティング担当

住所：253-0196

神奈川県高座郡寒川町宮山165番地

電話：0467-74-1111（内線：241、242）

ファクス：0467-74-9141

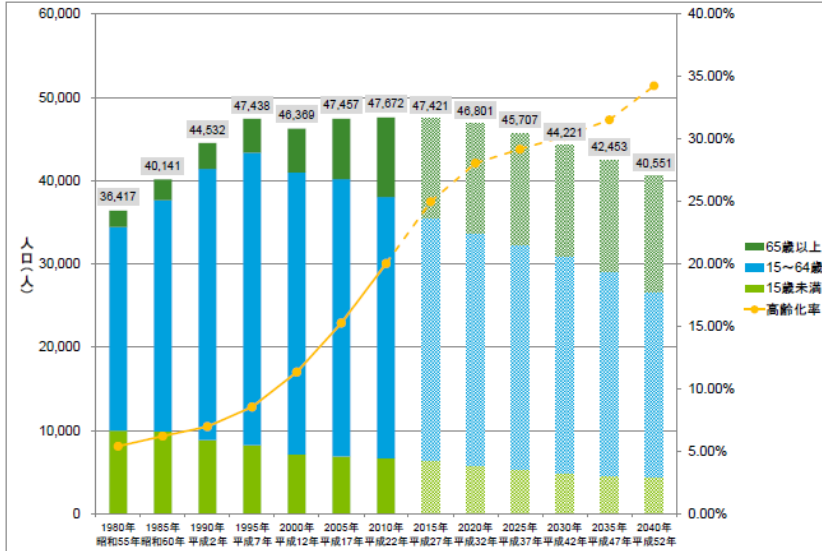
[メールフォームによるお問い合わせ](#)

# 「寒川町人口ビジョン」資料

## 寒川町の人口推移

令和 22 年（2040 年）の町の人口は 40,551 人、高齢化率は 34.3%になると推計されています。（国立社会保障・人口問題研究所による人口推計）

【図表 2-1】人口推移

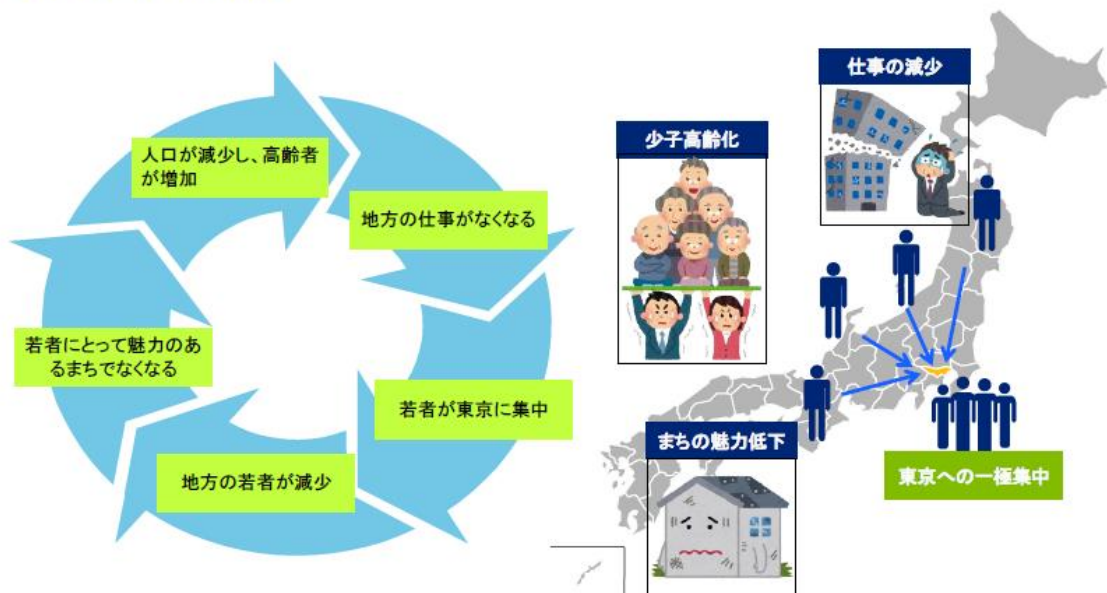


(出典：平成 22 年国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所)

## 人口の変化が地域の将来に与える影響

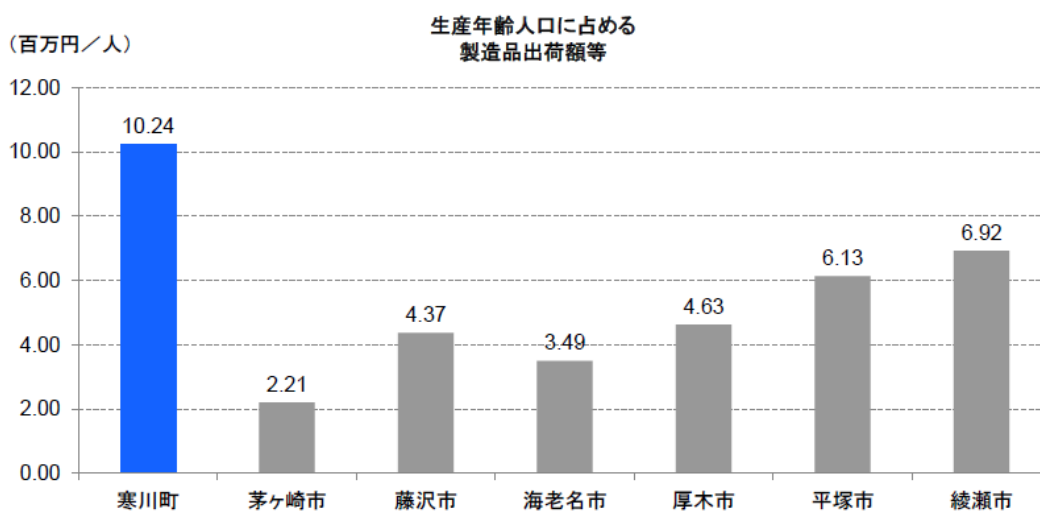
- ・人口減少によって経済規模が縮小→縮小スパイラル
- ・高齢者を支えきれない社会
- ・個人町民税の減少→個人の負担が増大

### 人口減少により生じうる脅威



## 寒川町の「しごとづくり」の状況

- ・ 製造業就業者数及び製造品出荷額が近隣自治体と比較して高い水準。  
⇒安定した雇用（特に製造業）の機会が確保されている。
- ・ 近隣自治体から寒川町へ通勤で流入している人の割合が高い水準。  
⇒町外からの通勤者を呼び込み、定住を促進する機会がある。
- ・ 起業の数は減少傾向にあるが、国・県単位と比較すると、減少幅は相対的に小さい。  
⇒今後は町内での起業を促すような施策の推進が課題となる。

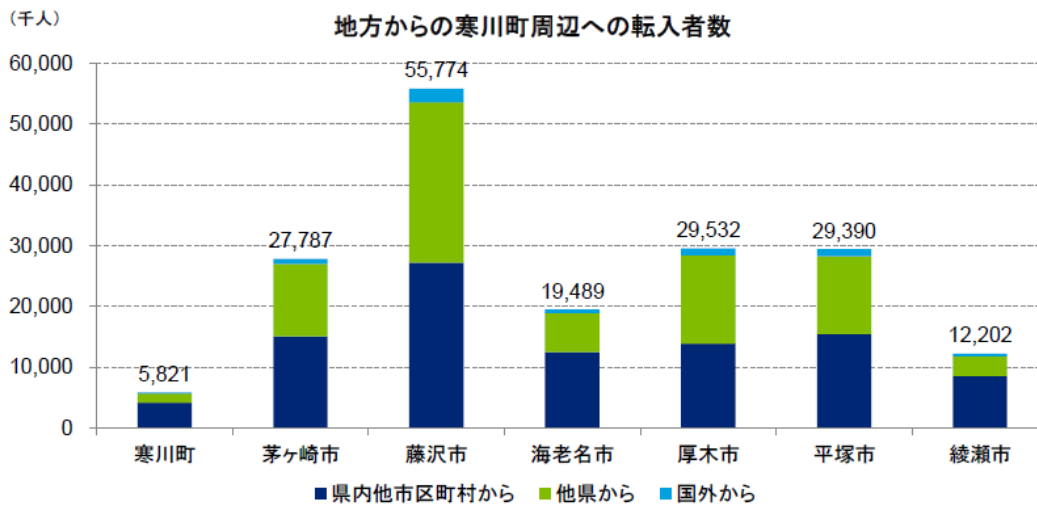


(出典：経済産業省「工業統計調査」 平成 23 年)

## 寒川町の「ひとの流れ」の状況

- ・ 人口総数と昼間人口の比率がほぼ同水準である。  
⇒町内における仕事の間が確保されている。
- ・ 主に 20 代から 30 代の若い世代で転出超過となっている。  
⇒若い世代の転入を促進することが、人口減少を抑制するための課題である。
- ・ 町民アンケートによると、交通の利便性や日常生活における買物のしやすさなどを重視している傾向が高いことがわかる。  
⇒日常生活の利便性の向上が寒川町の課題である。
- ・ 他県からの転入が相対的に少ない状況にあり、湘南エリアへの転入を検討している人を取り込む余地がある。  
⇒地方からの転入機会において、県外の人々が寒川町が居住地の対象として認知されていない可能性があり、寒川町の認知度の向上及び魅力の PR が課題である。

【図表 4-9】湘南エリアへの転入の状況



(出典：平成 22 年国勢調査)

### 寒川町の「結婚・出産・子育て」の状況




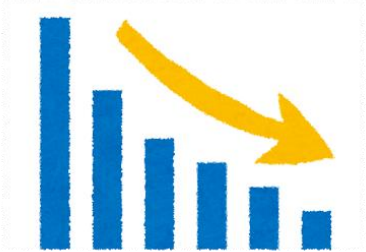
- ・出生率は特に高い状況ではない。  
⇒若い年代の確保と出生率の向上を図る必要がある。
- ・相手次第で結婚してもかまわないと考えている人は、全体の約 9 割を占めているにも関わらず、結婚に至っていないのは、出会いの機会が少ないことが主な要因と考えられる。
- ・理想的な子どもの数 (2.1) と実際の子どもの数 (1.5) との間に乖離が生じている主な要因には、出産・子育てに伴う経済的な不安があげられる。  
⇒出生率の向上のためには、出産・子育てに伴う経済的な不安を解消させることが課題となる。

### 寒川町の「まちづくり」の状況

- ・単独世帯の割合が近隣自治体と比較して低い水準にある。  
⇒ファミリー世帯が多く、子育て世代や高齢者が孤立するような環境にはなりにくい。
- ・小売店や飲食店等の商業施設の数が近隣自治体と比較して少ない。
- ・町民アンケートでも多くの町民が住居を決める要因として買物等の利便性をあげており、商業施設の充実が大きな課題となる。また、交通の利便性についても多くの町民が重要であると考えている。
- ・日常の買物のしやすさを求めて町外へ転出している人が多くなっている。  
⇒町内での起業を促すような施策及び交通利便性の向上のための施策推進が課題となる。

## SWOT分析

寒川町の強み・弱み・機会・脅威（SWOT）を整理しました。

|   |  |
|---|--|
| <p style="text-align: center;">＜強み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製造業を中心に、安定した雇用の機会がある。</li> <li>・ファミリー世帯が比較的多く、子育て世代や高齢者の孤立化する環境になりくい。</li> <li>・近年、町民協働の取り組みに力を入れており、地方創生に向けてその力を発揮することが期待できる。</li> <li>・豊かな自然環境</li> <li>・町財政の健全性</li> </ul>                           | <p style="text-align: center;">＜機会＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寒川町北口地区土地区画整理事業の進行に伴うまちの玄関口の魅力が高まったこと</li> <li>・さがみ縦貫道路の全線開通による交通利便性改善</li> <li>・さがみロボット産業特区によるイノベーション創出</li> <li>・市街化区域への新たな住宅開発の余地</li> <li>・年間約185万人の参拝者が訪れる寒川神社</li> <li>・都市未来拠点としての新幹線誘致周辺のまちづくり</li> <li>・産業集積拠点としての田端西地区のまちづくり</li> </ul>  |
| <p style="text-align: center;">＜弱み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10代後半や20代前半の流入が少なく、多子世帯が増えづらい構造にある。</li> <li>・首都圏にも関わらず、地方からの流入は乏しい。</li> <li>・商業や公園環境については近隣自治体と比較して、利便性の観点から見劣りすることは否めない。</li> <li>・買い物のしやすさや交通の利便性を求めて、町外へ転出している人が多い。</li> <li>・寒川町の認知度</li> </ul>  | <p style="text-align: center;">＜脅威＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで続いていた人口増加が止まり、人口減少に転じることで、まちづくりの考え方の転換が求められること。</li> <li>・高齢化が著しく進行する。</li> <li>・人口減少社会における自治体間競争の激化</li> <li>・地方経済の低迷による地方税の減収</li> <li>・増え続ける社会保障費</li> </ul>   |

## 他市町村との数値比較

### 人口（平成30年1月1日 現在）

|              |               |              |
|--------------|---------------|--------------|
| 寒川町：48,153人  | 茅ヶ崎市：240,951人 | 藤沢市：429,249人 |
| 平塚市：258,381人 | 海老名市：131,412人 | 厚木市：225,812人 |
| 愛川町：40,843人  | 大磯町：31,530人   | 葉山町：33,341人  |

### 立地（面積）

|                           |                            |                           |
|---------------------------|----------------------------|---------------------------|
| 寒川町：13.42 km <sup>2</sup> | 茅ヶ崎市：35.71 km <sup>2</sup> | 藤沢市：69.57 km <sup>2</sup> |
| 平塚市：67.83 km <sup>2</sup> | 海老名市：26.59 km <sup>2</sup> | 厚木市：93.83 km <sup>2</sup> |
| 愛川町：34.29 km <sup>2</sup> | 大磯町：17.23 km <sup>2</sup>  | 葉山町：17.04 km <sup>2</sup> |

### 平均地価（1 m<sup>2</sup>あたりの平均地価）33市町村の中で21位（平成28年）

|              |               |              |
|--------------|---------------|--------------|
| 寒川町：104,300円 | 茅ヶ崎市：198,879円 | 藤沢市：247,683円 |
| 平塚市：166,661円 | 海老名市：151,636円 | 厚木市：160,068円 |
| 愛川町：57,000円  | 大磯町：120,500円  | 葉山町：146,300円 |

### 持ち家戸建て世帯率（平成27年）

|           |            |           |
|-----------|------------|-----------|
| 寒川町：58.7% | 茅ヶ崎市：54.0% | 藤沢市：42.9% |
| 平塚市：51.2% | 海老名市：46.5% | 厚木市：46.6% |
| 愛川町：70.1% | 大磯町：75.5%  | 葉山町：76.5% |

### 妊婦検診助成金額（平成29年）

|             |              |             |
|-------------|--------------|-------------|
| 寒川町：77,000円 | 茅ヶ崎市：51,000円 | 藤沢市：75,000円 |
| 平塚市：51,000円 | 海老名市：60,000円 | 厚木市：62,000円 |
| 愛川町：62,000円 | 大磯町：70,000円  | 葉山町：55,500円 |

### ファミリーサポートセンター利用料金（平均1時間あたり）

|          |           |          |
|----------|-----------|----------|
| 寒川町：500円 | 茅ヶ崎市：700円 | 藤沢市：700円 |
| 平塚市：700円 | 海老名市：700円 | 厚木市：700円 |
| 愛川町：700円 | 大磯町：700円  | 葉山町：700円 |

**待機児童数**（平成29年）（1番少ないところは0人（12市町村））

|         |          |                  |
|---------|----------|------------------|
| 寒川町：11人 | 茅ヶ崎市：18人 | 藤沢市：148人（ワースト1位） |
| 平塚市：32人 | 海老名市：58人 | 厚木市：48人          |
| 愛川町：16人 | 大磯町：18人  | 葉山町：47人          |

**合計特殊出生率**（平成28年）

|          |           |          |
|----------|-----------|----------|
| 寒川町：1.25 | 茅ヶ崎市：1.39 | 藤沢市：1.42 |
| 平塚市：1.24 | 海老名市：1.41 | 厚木市：1.33 |
| 愛川町：1.16 | 大磯町：1.36  | 葉山町：1.41 |